

第6期第2回 高圧ガス規格委員会 議事録

1. 日時

2022年3月22日（火） 14:00～15:15

2. 場所

WEB開催（Cisco Webexを使用）

3. 出席者等（敬称略）

委員長	木村 雄二（工学院大学）
副委員長	大谷 英雄（横浜国立大学）
委員	土橋 律（東京大学）
	堀口 貞茲（元 産業技術総合研究所）
	三宅 淳巳（横浜国立大学）
	梅澤 幸樹（三菱ケミカル）
	高妻 泰久（三井化学）
	三浦 晃（ENEOS）
	渡辺 要（KW 保安管理システム研究所）
	大沼 倫晃（エア・ウォーター）
	関原 章司（太陽日酸）
	佐々木 元（アストモスエネルギー）
	都藤 秀二（レイズネクスト） ※三角委員の代理出席
	大場 明彦（ガス保安検査）
欠席委員	山中 耕一（巴商会）
	鶴岡 崇（千代田化工建設）
	中西 博幸（テックプロジェクトサービス）
	広瀬 浩二（茨城県）
高圧ガス保安協会 （事務局）	越野 一也、小山田 賢治、名倉 和広、矢吹 貴洋、佐藤 裕文、長島 柊平

4. 議題

- (1) 前回議事録（案）の確認【審議事項】
- (2) 保安検査基準及び定期自主検査指針（KHKS 0850, KHKS 1850 シリーズ）の見直しについて【報告事項】
- (3) 技術基準整備3ヶ年計画（2022年度～2024年度）（案）について【審議事項】
- (4) その他

5. 配布資料

資料1 高圧ガス規格委員会委員名簿
資料2 第6期第1回高圧ガス規格委員会議事録（案）
資料3 保安検査基準、定期自主検査指針の見直しについて
資料3 参考資料1 KHKSへの規則等改正の影響確認
資料3 参考資料2 目視検査へのドローンの活用に関する省令等の改正について
資料4 高圧ガス規格委員会 技術基準整備3ヶ年計画（2022～2024年度）（案）

6. 定足数報告等

続いて事務局から委員交代等に関する説明があり、ENEOSの藤井委員の後任としてENEOSの三浦委員から挨拶があった。続いて、レイズネクストの三角委員に代わり、代理出席の都藤様から挨拶があった。

その後、第6期第2回の開催にあたり、事務局から定足数の報告があり、委員数18名に対し、委員出席14名で定足数（委員数の過半数以上）を満足している旨の説明があった。

続いて、委員長より、会議の出席者に対して、委員等倫理心得について説明があった。

7. 議事概要

7.1 議事 (1) 前回議事録案の確認【審議事項】

資料 2 に基づき事務局から説明があり、前回委員会後に議事録案を各委員に送付し特に意見がなかったことの説明があった。また、前回委員会後の高圧ガス規格委員会後の活動として、可とう管に関する検査基準 (KHKS 0803) の見直しとベローズ形伸縮管継手の基準及びフレキシブルチューブの基準の制定、保安教育計画の指針及び保安教育の指針の改正、危害予防規程の指針の改正に伴う地震防災規程の指針の廃止及び LP ガスバルク供給基準 (工業用等) (KHKS 0501) の見直しについて、委員会後に書面投票、パブリックコメント、テクニカルレビューを経て、プロセスレビュー中の状態にあることを報告した。

特に委員からの指摘、コメントは無かった。ご意見等が無いことを確認した後、議事録案の承認について決議を実施し、出席委員 14 名全員の賛成により可決された。

7.2 議事 (2) 保安検査基準及び定期自主検査指針 (KHKS 0850, KHKS 1850 シリーズ) の見直しについて【報告事項】

資料 3、資料 3 参考資料 1 及び資料 3 参考資料 2 に基づき事務局から説明があった。特に委員からの指摘、コメントは無かった。資料において示した今後の進め方に沿って、今後検討を進めていくこととなった。

7.3 議事 (3) 技術基準整備 3 ヶ年計画 (2022 年度～2024 年度) (案) について【審議事項】

資料 4 に基づき事務局から説明があった。特に委員からの指摘、コメントは無かった。ご意見等が無いことを確認した後、本計画案について決議を実施し、出席委員 14 名全員の賛成により可決された。

7.4 議事 (4) その他

事務連絡として、次回委員会の開催日程は 9～10 月を予定しており、規格の見直し作業を進めていく中で技術的な検討が必要になった場合等により前倒し又は追加で開催する場合がある旨を説明した。

以上